

日本Androidの会福祉部の 活動について

2011.5.26 三輪 佳子

PayForwarding部の次です

この順序にどういう意味があるか
少し考えてみていただけるとありがたいです。

いつも災害に見舞われている人＝社会的弱者

なのかもしれません。

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



本日の発表内容

1. 「日本Androidの会福祉部（以下、福祉部）」が設立された経緯
2. 福祉部の歴史（0.5年分）・体制・特徴
3. 発表者について
4. 福祉機器と福祉をめぐる現在の状況
5. 福祉部の活動
6. 福祉部の成果物
7. Touch and Try
8. 質疑応答

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



福祉部設立の経緯 設立のきっかけ

「日本Androidの会」MLで時々盛り上がっては立ち消える
福祉機器談義……

「技術を誰かの役にたたせたいと思っている
ギークが多いんですね」 by 丸山不二夫

(参考:「Smartphone World Vol.1」 pp.106)

福祉部0.5年の歴史

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 2011年12月 | MLを設置し準備会を開催
(MLメンバー 75名程度) |
| 2011年1月9日 | ABC winter 2011 にて設立宣言 |
| 2011年2月 | 第一回会合を開催 |
| (2011年3月11日 | 震災) |
| 2011年4月 | 第二回会合を開催 |
| 2011年5月 | WJ2011に出展
(MLメンバー 272名) |

おかげさまで順調に発展中です

福祉部の体制

きちんとした体制は作っていない。
メンバーの誰かが自分の関心あることについて述べると
自主的に自然発生的なサブプロジェクトが出来て活動しはじめる
(初期のLinuxコミュニティと非常に似た感じ)

現在のところ 世話人5名による合議で運営

福祉部の特徴

ビジネスとコミュニティ

既存のものと新しいもの

ビジネス志向・ボランティア志向

「かっちりしたものを作りたい」「作りたいものを作りたい」

OSSの「バザール」で育った人・きっちりした「伽藍」で育った人

もちろん 健常者と障害者・男と女

.....考え方や立場の違う人、利害の一致しない人がたくさんいる

違いや隔たりはそれはそれとして

各人各様の多様性が生かされるコミュニティを

目指したい

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



氏名 三輪佳子(みわよしこ)

昭和38年、福岡市長浜(「元祖長浜屋」のすぐ近く)生まれ
(TVアニメ・NHK大河ドラマと同年)

大学院修士課程(物理学専攻)を修了後、
企業研究者(半導体シミュレーションシステム・10年)

フリーランスライター

(組込みシステムを中心に科学技術ライティングで活動・11年目)

2007年、大学院博士課程への入学という形で

半導体シミュレーションの研究に舞い戻るも、

今年度、3回目のD3(崖っぶち)。

猫が好き。現在も猫二匹と暮らす。

特技:猫と猫語で会話すること

発表者について

障害

- ・肢体不自由 1990年代後半から徐々に。
2004年ごろから歩行が困難になる。
2007年、原因不明のまま障害者手帳を取得。
- ・精神障害 ほぼ生まれつきと思われる統合失調症。

目指せ、三障害制覇(?)

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



福祉機器の問題点の一部

- ・公費支給を前提としていることが多い(=値下げ圧力が強い)。
「標準」の水準が低く、
「超長期」といってよいほどの耐用年数を要求される
- ・専用ハードウェアを作成することが多い。
開発も改良も容易ではない。コストも増大する。
- ・購入に関する意思決定者はユーザ本人ではないことが多い。
- ・機能するんだから、開発者が一所懸命なんだから、
見た目がダサいことなどに文句を言っははいけない、らしい。

福祉機器と福祉をめぐる現在のじょうく

なぜ、
ユーザ・ユーザ予備軍にとって
「そそらない」福祉機器が多くなってしまうのか？

ユーザ(予備軍)は資金力・政治力などの実力を
持っていないことが多いから。

日本人の平均年収	350万円
日本人障害者の平均年収	高く見積もった概算で120万円

障害者の就学・就労・自立を推進すること以外の解決策はない。
しかし、早急な解決は無理であろうと思われる。

福祉機器と福祉をめぐる現在の状況

公的支援(移動支援など)は 就学・就労・営業 には使ってはいけないことになっている。

理由:税金で個人の資産を増強することになってしまう。

→就労の前提となる教育を十分に受けられない障害者も多い。
(乙武洋匡氏や福島智氏のように
例外的な親に恵まれれば例外となりうるかもしれない)

障害者は貧乏

→自立に必要な機器が買えない

→自立しにくい

→貧乏のまま

.....

高齢者の「長生きリスク」は生産年齢の活力低下となる。
子育て世代に「子育ては自己責任」では少子化が進行するのみ。

→当事者に「自己責任」と
なるべく言わない方策を考えるべきでは？

障害者	約700万人
高齢者	約3500万人
15歳以下の子ども	約1500万人

に最低限存在する家族の人数を合算すると、ほぼ日本の全人口。

人数の面から考えると、福祉は誰もかにも関わる問題。

Android + Androidアプリの力で出来ること

- ・汎用性の高いAndroid携帯・パッドから開発をスタートさせる
→専用ハードウェアの開発を最小限にできる
- ・Androidアプリの形で必要な機能を実現する
→改良も追加もアプリのダウンロードのみで行える

スマートフォンは

「福祉機器は高価、貧乏な障害者がさらに貧乏に」
からの脱却を推める福音(?)

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



福祉部の活動

- ・メーリングリスト「androweal」を中心とした議論
- ・会合（一ヶ月に一回程度・東京）＋飲み会

この他、散発的に
オフラインの活動・他支部との交流が
行われているもよう。

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



アプリ「つたえたいことば」

福祉部成果物紹介

アプリ「TextMag」

福祉部成果物紹介

アプリ「MessengerAll」

会議などでスマートフォンに向けて話しかけると
発話者名つきで(発話者のIPアドレスつきで)テキスト化。

福祉部成果物紹介

振動による意思伝達装置(試作中)

盲ろう者のために開発された
点字を振動で伝えるシステム「ヘレンケラーホン」を参考に
福祉部メンバーが鋭意(?)

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>



タッチ・アンド・トライと質疑応答の 時間です

なにはともあれ……

福祉部へどうぞ

福祉部ML

<http://groups.google.com/group/androweal>

